



妊娠・出産期の支援の充実を！
牧田 正樹（政新クラブ）



問／生後8週未満の乳児の預かり事業の実施や、民間で実施している団体への支援はできないか。
答／産前・産後ヘルパー派遣事業や産後ケア事業などを通じて、産婦の育児負担軽減に対する支援体制は整っており、直ちに実施する考えはない。さらなる支援の充実を研究する。

問／産前・産後ヘルパー派遣事業について、申請時期の見直しや、多胎児の場合の派遣上限時間の拡充など、利用しやすく改善できないか。
答／緊急で支援が必要な方へは、事業所と調整を行い柔軟に対応している。多胎児の上限時間については、範囲内で十分対応が図られている。

小学校の農業体験の支援体制強化を！

問／小学校における農業体験の現状と課題は。
答／令和3年度は、48校中36校で稲作体験に取り組み、稲作の難しさや収穫の喜び、農家の努力等を学習した。指導者の高齢化が課題で、今後の体験学習継続に向け、関係団体と連携していく。

吹上・釜蓋遺跡の現状と活用方針は

問／両遺跡は、観光の重要な資源と考えるが、今後の活用について聞きたい。
答／両遺跡をかけがえのない宝と捉え、価値の発信と共有に努める一方、景観保全など歴史資源としての魅力の磨き上げに努めていく。



人事改革の取り組みの進捗状況は
江口 修一（久比岐野）



問／副市長4人制の提案見送りや公約達成に影響はないか。
答／公約達成に影響がないよう、市政運営をしっかりと行い、政策・施策を着実に推進していく。

問／職員のやる気喚起や女性管理職の登用についてどう考えているのか。
答／策定中の人事改革の方針で、職員のやる気喚起に関して、職員研修、人事評価、キャリアデザインなどの観点から、具体的な取り組みを検討している。女性管理職は、今後も積極的に登用し、組織の活性化を図っていく方針である。

SDGsの推進を

問／SDGsの推進に取り組むべきではないか。
答／関連施策の推進はもとより、市民の意識啓発に向け、一層の普及啓発を図る。

SDGsの推進を実行しないと地球に住めなくなる

| | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 気候変動 <input type="checkbox"/> 食糧危機 <input type="checkbox"/> 森林破壊 <input type="checkbox"/> 海洋資源 <input type="checkbox"/> 水 <input type="checkbox"/> 感染症 <input type="checkbox"/> 貧困 <input type="checkbox"/> 差別・偏見 <input type="checkbox"/> 労働・人権 <input type="checkbox"/> パワーシフト <input type="checkbox"/> デジタルリスク | <p>今の経済社会では地球は約1.7個/年必要</p>  <p>全世界が日本人と同じ暮らしだと約2.8個/年必要</p> |
|--|---|

市長：政策を市民に披露し、実行する役割

公務員：
市長が実行できるようにまとめて施策する。上越市を支えるのだという使命感がある。市民全員がある程度納得して合意できるラインを探す。我やこだわりが強すぎず、バランス感覚や冷静さを兼ね備えている事も重要な資質。



中小企業向け支援制度利用状況は
山田 忠晴（公明党）



問／中小企業向け支援制度の利用状況は。支援から取り残された事業者はないか。
答／売上げの減少率に応じて給付する「事業者経営支援金」は、制度開始から第5次まで延べ7,008事業者、総額約15億200万円を給付した。このほか、物価高騰や原油価格高騰に合わせた支援金制度など、経済状況により必要な制度の創設や拡充を行い、地域経済支援に取り組み、事業者からも高く評価いただいている。

クールジャパンEXPOの成果

問／クールジャパンEXPOでの発信成果は。
答／「上杉謙信公と春日山城」をテーマに、市長や職員が武將に扮してPRし、甲冑体験は多くの方で賑わった。会場での聞き取り調査では、当市を「歴史のあるまち」とイメージする人が多く、効果的に展示やPRができたと考えられる。

母子手帳アプリ「母子モ」の内容充実

問／「母子モ」でどのような利便性向上に繋がるのか。母子健康手帳完全デジタル化の課題は。
答／運用開始から半年で1、190人の利用登録がある。今後、多言語対応や掲載方法の工夫など、一層の利便性向上を図っていく。母子健康手帳のデジタル化は、国の検討会で議論されているので、今後の動向を踏まえ検討していく。